

チャレンジ 福島



応援隊通信



福島からはじめよう。

Future From Fukushima.

平成30年12月 Vol.11

東日本大震災・原子力災害からの風評払拭・風化防止を図るため、全国各地の福島県人会の皆さんと連携して「ふくしまの今」を県外の方々に発信する「チャレンジふくしま応援隊」の活動状況をピックアップして紹介します。

東海福島県人会

「ふるさと全国県人会まつり」

9月8日及び9日の2日間、名古屋市久屋大通公園久屋広場、エンゼル広場において開催された「ふるさと全国県人会まつり2018」に参加し、本県の特産物の販売、観光PR等を実施しました。



(東海福島県人会ブースに並ぶ桃)

旬の果物である桃は、香りよく見た目も鮮やかで、当県人会ブースを目に留めてもらうのに効果的でした。

天候が良くなかったにもかかわらず、桃を箱買いするお客様が多く、桃は昨年同様イベント2日目の午前中に完売しました。

1,000千円以上お買い上げの方を対象とした抽選会では、特賞の「会津産コシヒカリ」や「桃のプリン」を目当てに、抽選の玉が出る度に一喜一憂するお客様で、ブースは賑やかな声に包まれました。

当該イベントでは、全国各地から多くのゆるキャラが集結しましたが、本県のゆるキャラ「キビタン」も店頭に立って、子ども連れの家族から記念写真の求めに応じるなど、ブースの盛り上げに一役買っていました。



(キビタンのPR活動)

東京福島県人会

「福島県物産展 in 大井競馬場」

10月8日、大井競馬場特別企画として行われる相馬野馬追甲冑競馬のイベントに合わせて「福島県物産展 in 大井競馬場」を開催しました。

県人会ブースの物販は、日本橋ふくしま館MIDETTEにお願いし、ぶどう(巨峰、シャインマスカット)のほか、ままだおる、薄皮饅頭などMIDETTEの売れ筋商品を販売しました。

応援隊アンケートは、協力者へのプレゼントとして県産米(天のつぶ)を用意し、県人会のメンバーが来場者に積極的に声かけし、1時間程度で終了しました。

観光等PRについては、ブース内にパンフレット置き場を設置したほか、観光ガイドブックやミニ白河だるまの袋詰めを用意し、来場者に配付しました。また、ブースの脇に「ふくしま復興のあゆみ」のパネルを掲出し、「ふくしまの今」についての情報発信に努めました。



(左：情報発信・アンケート、右：物販を実施)

6レースと7レースの間に行われた相馬野馬追甲冑競馬を目当てに来場され、相馬野馬追について質問してくる方も数名いました。出走前セレモニーでは、ホラ貝や相馬地方の民謡が披露され、雰囲気盛り上げました。鎧に旗さしもの姿で騎乗・疾走する甲冑競馬に観客から大きな拍手が送られました。甲冑競馬の終了後30分位は、県人会ブースへの来場者が殺到しました。



(甲冑競馬出走前のセレモニー)

小平市福島県人会

「第43回小平市民まつり」

10月21日、小平市「あかしあ通り」にて、第43回小平市民まつりが開催され、県人会販売コーナー

と震災復興支援物販ブースの2箇所でも福島県産品を販売しました。

県人会の試食コーナーでは、りんご、漬け物、お菓子などを試食してもらいました。また、「復興支援」、「来て」の幟旗をたて、応援隊アンケートや観光ガイドブックの配布を実施して、情報発信に務めました。



(アンケートの実施状況)

県産品としては、お酒、りんご、はちみつ、うまくて生姜ねえ、笹だんご、ままだおる、喜多方ラーメン、コロコロたくあん、キャラブキ、ジャム(もも)、りょうぜん漬け、干しシイタケ、干しキクラゲ、たまりセンペイ、まぜごはんの素(里の秋)などを販売しました。

来場者からは、「浪江で震災に遭われ小平市内に住宅を建てた方がいる。ご近所つきあいもこれからどのような方か分からないが、これから平穏無事に暮らしてほしい。」、「東日本大震災のあと多くの災害が発生しました。結果、だんだん遠くなる大震災。福島は原発事故被害でこの先40数年と言われている問題を抱え、県民だけでなく、全国の人に協力・応援をしていただきたいが、福島に関する情報が少なすぎる。」などの声が聞かれました。

震災復興支援物販コーナーでは、喜多方市の(株)五十嵐製麺が自社ラーメン等の復興応援販売をしました。

今後も、各地の県人会の皆さんの活動を紹介します。よろしくお願ひします。

【編集・発行】

福島県 県民広聴室

TEL : 024-521-7013

Eメール : koucho@pref.fukushima.lg.jp

